

1. 福祉教育教材

■車椅子は・・・

長時間歩いて移動ができない人や、足などの身体に障害があり歩行が難しい人などが、移動手段に用いる車輪付きの椅子です。

一般的な車椅子（写真1）の他に、レバー操作で動く電動車椅子（写真2）、スポーツ競技用車椅子（写真3）、背もたれの角度を自在に調整できるリクライニング式電動車椅子（写真4・5）もあります。

※各機関・団体等にて貸出ができる車椅子は、（写真1）のような一般的な車椅子になります。



（写真1）



（写真2）



（写真3）



（写真4 リクライニング前）



（写真5 リクライニング後）

はくじょう ■ 白杖は・・・

身体障害者福祉法で、盲人安全つえと呼称されていますが、一般的には白杖と呼ばれています。

視覚障害のある方に対する理解や認識を深めるための擬似体験に使います。

白杖の機能には大きく3つ挙げられます。

- 1) 情報収集
- 2) 防御
- 3) 存在を周囲に知らせる



■ 点字器は・・・

点字を打つための定規と点筆のセットです。点字器には、いろいろな種類があります。右の写真は、標準的な点字器で、板の上に取り外しができる金属製の定規（じょうぎ）がついています。

点字用紙（普通の紙よりやや分厚い）をはさんで固定し、点筆で右から順に書いていきます。



■ アイマスクは・・・

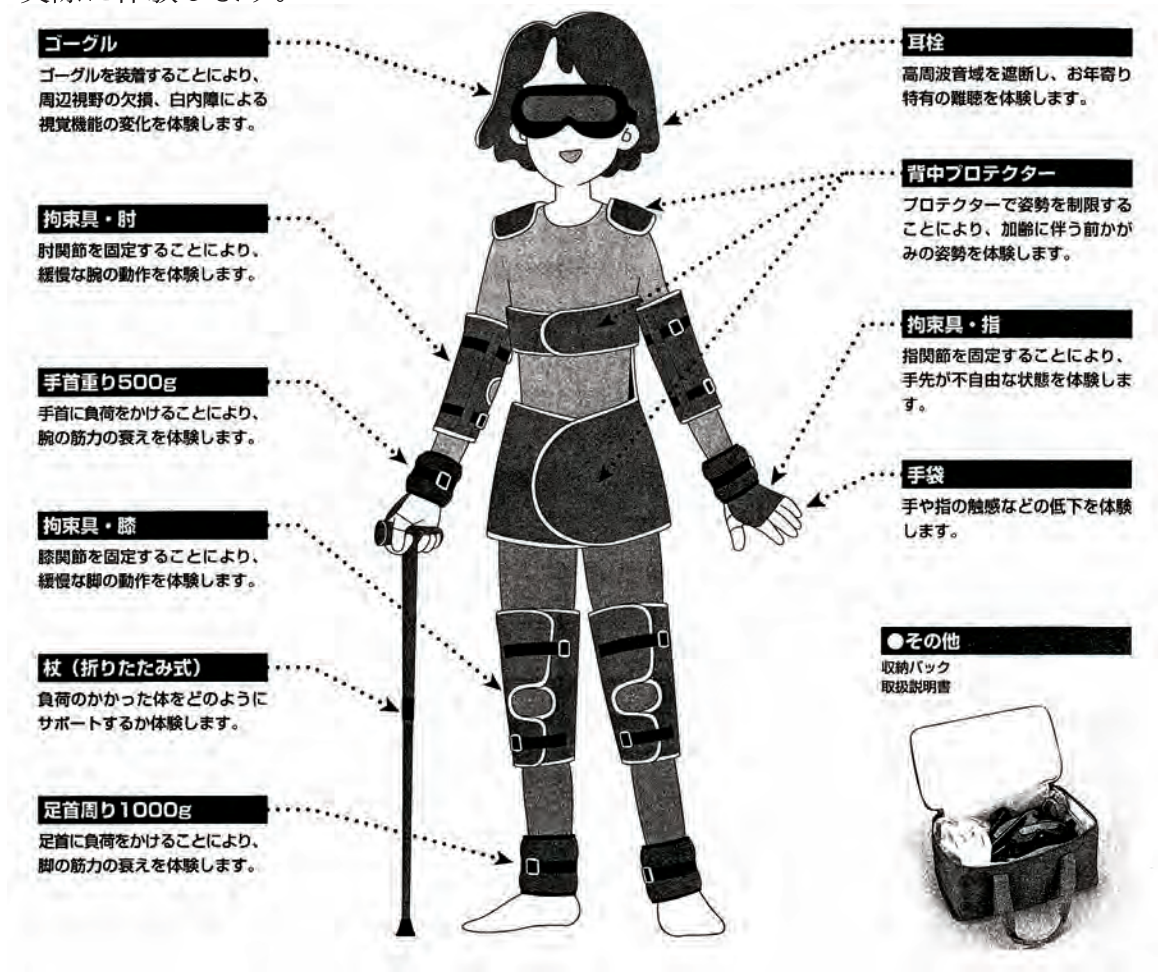
目の不自由な人たちの身になって、また、その人たちをサポートしてみる擬似体験に使います。



■ 高齢者疑似体験セットは・・・

特殊な眼鏡や背中プロテクターなど的高齢者疑似体験セットの装着により、老化による高齢者の不自由な生活を疑似体験する学習教材です。

高齢者や障害のある方に対する理解やバリアフリーの必要性に対する認識を深めるため、実際に体験します。



■ 妊婦体験ジャケット・乳児ケア訓練人形は・・・

腹部や胸部におもりを入れたスーツを着用し、妊婦の日常生活動作の体験や、新生児と同等の体重の人形でだっこや沐浴、おむつ換えなどの体験ができます。

自分がお腹のなかにいたときのお母さんの気持ちや、赤ちゃんのお世話を体験し、命の大切さが実感できます。

